

パーティー会場の扉が開かれた瞬間にその美しさに思わず息をのむ花嫁姿。
幼いころから憧れていた舞台でまとう運命の一着はどこまでもこだわりたい！
ベルクラシックならラブリーでキュート
一番自分らしいドレスが見つかるはずです。

神戸
ベルクラシック神戸
www.bellclassic.co.jp/kinki/kobe/
TEL.078-232-3390
姫路
ベルクラシック姫路
www.bellclassic.co.jp/kinki/himeji/
TEL.078-222-8800
サロイナルクラシック姫路
www.bellclassic.co.jp/kinki/royal_himeji/
TEL.079-222-1200
奈良
ベルクラシック奈良
www.bellclassic.co.jp/kinki/nara/
TEL.0742-47-1200
大阪
ベルクラシック空港
www.bellclassic.co.jp/kinki/kuko/
TEL.06-6857-1200
南大阪
アールベル アンジェ堀
www.bellclassic.co.jp/kinki/sakai/
TEL.072-252-1200
東大阪
ベルクラシック大阪
www.bellclassic.co.jp/kinki/osaka/
TEL.06-6788-1200
京
アールベル アンジェチャペル嵯峨野
www.bellclassic.co.jp/kinki/sagano/
TEL.075-861-0555

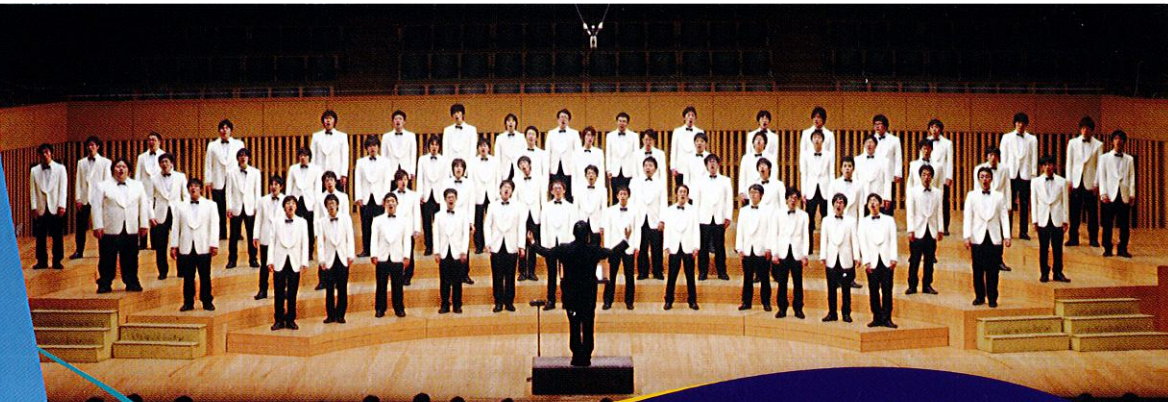
自分らしいウエディングを叶える式場へ
ベルクラシックのこだわりが詰まった
ウエディングドレス

Rouge de BENI
Produced by BENI



THE BELLCLASSIC
Group

<http://www.bellclassic.co.jp/>



第110回 同志社グリークラブ 定期演奏会

Doshisha Glee Club The 110th Annual Concert



2014年
12月7日(日)
京都コンサートホール 大ホール

Doshisha College Song

Words by W.M. Vories
Music by Carl Wilhelm

1. One purpose, Doshisha, thy name
Doth signify; one lofty aim;
To train thy sons in heart and hand
To live for God and Native Land.

Dear Alma Mater, sons of thine
Shall be as branches to the vine;
Tho' through the world we wander far and wide,
Still in our hearts thy precepts shall abide!

4. Still broader than our land of birth,
We've learned the oneness of our Earth;
Still higher than self-love we find
The love and service of mankind.
Dear Alma Mater, sons of thine
Would strive to live the life divine;
That we may with increasing years have stood
For God, for Doshisha, and Brotherhood!

PROGRAM

Stage 1 男声合唱組曲「雨」

1. 雨の来る前
2. 武蔵野の雨
3. 雨の日の遊動円木
4. 雨 雨
5. 雨の日に見る
6. 雨

作 詩／伊藤 整 ほか
作 曲／多田 武彦
指 揮／安村 眞也

Stage 2 110 周年記念 OB 合同ステージ

1. Hail Our GLEE CLUB
2. 椰子の実
3. 赤とんぼ
4. 詩篇 98 新しき歌もて

Stage 3 男声合唱とピアノのための《帆を上げよ、高く》

— 委嘱初演 —

1. 翼よ、お前の空を翔ろ
2. 春愁のサーカス
3. 帆を上げよ、高く

作 詩／みなづきみのり
作 曲／信長 貴富
指 揮／伊東 恵司
ピアノ／萩原 吉樹

Stage 4 ロシア革命詩人による“十の詩曲”より「六つの男声合唱曲」

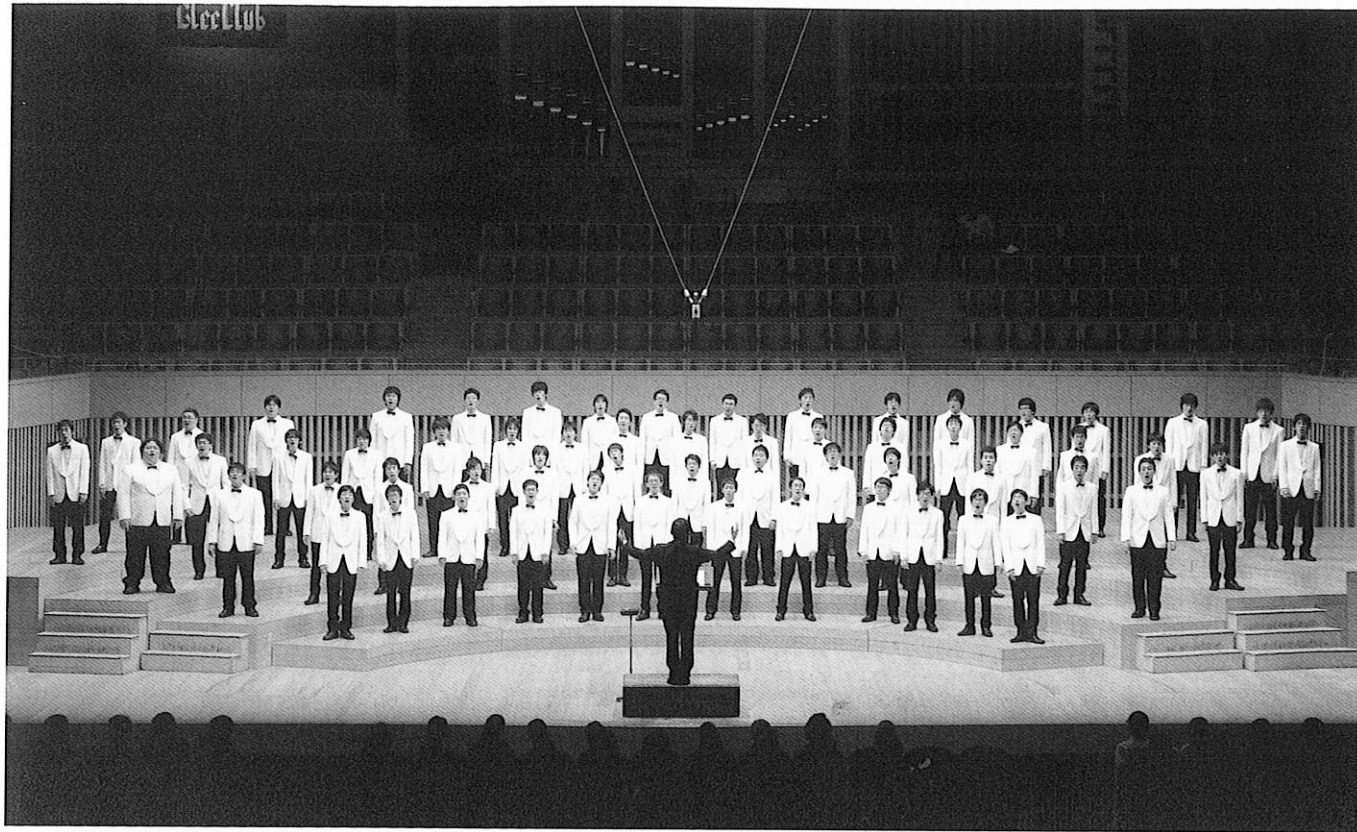
1. 雄々しく進もう
2. 果てなき荒野
3. 死刑の戦士
4. 怒りの日
5. 鎮魂歌
6. 歌

訳 詩／安田 二郎
作 曲／D. Shostakovich
編 曲／福永陽一郎
指 揮／浅井 敬壹



アソシエ
・いもぎ
・アソシエ
・アソシエ

～ 第110回同志社グリークラブ定期演奏会 ～



御挨拶



同志社グリークラブ 幹事長 小林 聖

本日は第110回同志社グリークラブ定期演奏会にご来場いただきまして誠にありがとうございます。皆様からの温かいご支援を賜り、今年も京都コンサートホールにて定期演奏会を盛大に開催できますことを部員一同、心より嬉しく思っております。

今年は同志社グリークラブが創部110周年を迎える節目の年です。110年間という道のりには多くの試練や困難があり、このクラブは刻々と変わる時代の空気に絶えず影響を受けてきました。しかし何時の時代においても、先輩方は挑戦することを忘れず、音楽に対する情熱を貫いてこられました。そして、その中で受け継がれてきた同志社グリークラブの精神は今なお枯れることなく私達の中にしっかりと息づいています。

今年一年間を振り返ってみますと、本当に様々な出来事があったように思います。京都で開催された東西四大学合唱演奏会、九州への演奏旅行、合唱コンクール…。思い描いた通りにならないことも沢山ありましたが、仲間たちと音楽への情熱を燃やし、前だけを見つめ進んで参りました。その過程で出会った感動や言葉にならない悔しさは、かけがえのない糧となり、歌い手とクラブを一回り大きく成長させてくれたように思います。

110年目の同志社グリークラブに残された時間は残りわずかです。本日は、私達の一年間の集大成をお見せできるように、最後の1秒まで気を抜かず全身全霊の演奏を披露させていただきます。最後になりましたが、本日の演奏会を開催するにあたり、多大なるご指導、ご尽力を賜りました諸先生方、関係者の方々に、厚く御礼申し上げます。

学校法人同志社 総長 大谷 實



110回同志社グリークラブ定期演奏会が、京都コンサートホール大ホールにおいて盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。

ご案内のとおり、同志社グリークラブは、1904(明治37)年の創部以来の歴史と伝統を有し、常に魅力的に合唱活動を行ってきた同志社きっての名門クラブであります。

今年度もすでに、第69回関西合唱コンクールにおける金賞受賞、第63回東西四大学合唱演奏会への参加など積極的な演奏活動を展開しているところです。さらに、学内の様々な式典においても素晴らしい演奏を披露しており、今や、同志社大学にとって欠かすことのできない存在であり、その活動に総長として心から敬意を表する次第です。

本日の演奏会においても、創部110年の歴史と伝統に裏打ちされた力強い歌声が、御来場の皆様のご期待に十分に応えるものになると確信しております。

今宵の合唱が、ご来場の皆様の希望に満ちた未来へのプレリュードとなることを心からお祈りいたします。

同志社大学 学長 村田 晃嗣



今年も、同志社グリークラブ定期演奏会が盛大に開催されますことを心からお慶び申し上げます。

今回の定期演奏会は、同志社グリークラブ創立110年の記念演奏会です。同志社グリークラブの歴史と伝統を築き上げてこられたOBの皆様との合同ステージ等、110周年を祝うにふさわしいステージが用意されております。特に、第3ステージでは作曲家の信長貴富先生のご協力のもと、委嘱初演ステージを予定しております。この演奏会のために書かれた曲をどのように奏でられるのか、ご注目ください。

最後となりましたが、お忙しい中ご来場いただきました観客の皆様をはじめ、常日頃より部員の活動を支えていただいております諸先輩ならびに関係者の皆様に厚くお礼申し上げます。本日の演奏会の成功と同志社グリークラブの益々の発展を心より祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

同志社グリークラブ 顧問 岸 基史



本日は「第110回同志社グリークラブ定期演奏会」にご来場いただき、誠にありがとうございます。同志社グリークラブは今年で創部110周年を迎えました。これまでに積み上げられてきた伝統と重厚な歌声は、同志社大学内に留まらず、日本の合唱界に大きな存在を示してきました。今年の同志社グリークラブは、第63回東西四大学合唱演奏会、コンクールへの出場、テレビ出演など、非常に頼もしく活動的な一年でした。本日の定期演奏会は、この1年だけではなく、110年に亘る歴史と伝統の集大成として盛りだくさんなステージを企画しております。同志社グリーンメンとしての誇りを胸に「聴衆と一体となった」歌を聴かせてくれるものと期待しております。

ご来場の皆様には、本日の演奏を心ゆくまでお楽しみいただき、同志社グリークラブへの一層のご支援を賜りたく存じます。

同志社グリークラブOB会 理事長 芦田 直幸



本日は師走で何かと御多用のところを同志社グリークラブ第110回定期演奏会にご来場賜り誠にありがとうございます。こうして定期演奏会を開催できますのも、ひとえにご来場のお客さま、学校法人同志社、同志社大学のご支援があつてこそと衷心より感謝申し上げます。

さて同志社グリークラブの110年の歩みは決して平坦なものではありませんでした。戦争、学園紛争、近年の複合要因による部員数の減少等、幾多の困難を乗り越えて来た変革の歴史であります。

本日第2ステージの現役・OB合同では同志社グリークラブで長年歌い継がれて来た愛唱歌を演奏致します。この合同ステージを通じて変革の一方で変えてはならない同志社グリークラブの「精神矜持」といったものを現役諸君に少しでも感じ取ってもらうことができれば幸いです。



音楽評論家／同志社グリークラブ OB 会 会長 日下部 吉彦

1952 年、同志社大学英文科卒業。在学中は、同志社グリークラブの学生指揮者。卒業後は、OB の男声合唱団「クローバー・クラブ」の指揮者となり、全日本合唱コンクールで、3 年連続日本一の金賞を獲得するなど、戦後第一期黄金時代を築いた。全日本合唱連盟副理事長、関西合唱連盟会長を永年務め、合唱界のトップリーダーのひとり。一方、朝日新聞記者から、朝日放送音楽プロデューサーに転じ、朝日放送解説委員長として、テレビ・ニュース・キャスターを 14 年間、音楽評論、メディアのジャーナリストとして、現在も活発な活動をしている。とりわけトークを交えた「レクチャー・コンサート」スタイルの創始者として、全国的に知られている。

【演奏会に寄せて】

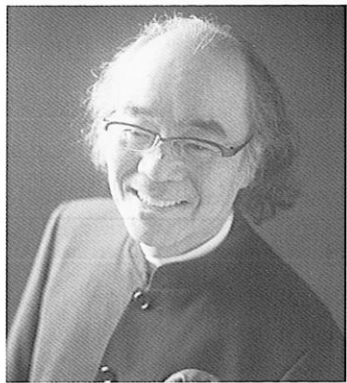
グリークラブの役割りは…

NHK の大河ドラマ「八重のさくら」を見ていて痛感したことだが、八重さんと、ご主人新島襄との役割り分担のすばらしさ。襄には気のつかない人間の感情のひだを、八重さんは、見事にとり込んでゆく。

この八重さんの仕事の分野が、まさに「音楽」の役割ではないか。

同志社グリーの役割は、この八重さんの仕事であり、他人には出来ないことでもある。強さ、弱さ、素直さ、純情と同時に“バカ正直”でもある。テクニクも必要。そして何より“エモーショナル”が第一だ。

関西学院グリーや慶應ワグネルの現役・OB の演奏会を聴いていて、同志社との違いをまず実感するのは、この“感情”の強さ。この伝統を大事にしてほしい。110 年かけて、作りあげてきたものなのだから。



客演指揮者 浅井 敬壹

2 歳より 8 歳まで中国吉林省（旧満州）にて育ち、終戦で引き揚げる。中学 2 年より合唱指揮を始め、同志社大学在学中、186 名を抱える同志社グリークラブの指揮者を務め、卒業後の 12 月「千年の古都・京都に世界一の合唱団を」の理想を掲げ“合唱団京都エコー”を結成。

全日本合唱コンクールでは、合唱団京都エコー（20 年連続金賞受賞）、住友金属混声合唱団（13 年連続金賞受賞）を率い、金賞受賞は合計 38 回、うちコンクール大賞（部門を越えて最も優れた団体に贈られる）を 6 度受賞。

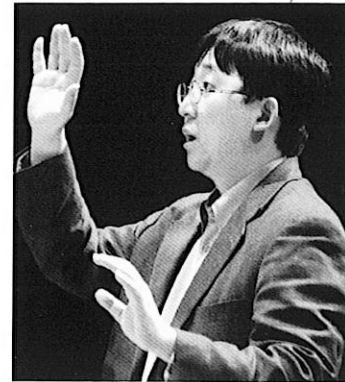
現在、合唱団京都エコー、新日鐵住金混声合唱団ほか、10 団体を指揮。今年 8 月には、英国合唱指揮者協会からの招聘により、英国カーディフでのコンベンションにて合唱団京都エコーを率い招待演奏を行った。英国合唱指揮者協会コンベンションの歴史においてこれまでも、そしてこれからもないであろう歴史的な名演“との評価をいただく。福島県しゃくなげ大使。全日本合唱連盟名誉会長。関西合唱連盟会長。京都府合唱連盟会長。日本合唱指揮者協会相談役。国民文化祭実行委員（文化庁）。京都コンサートホール企画運営委員。

【演奏会に寄せて】

私の人生で幸せなことは、同志社グリークラブを卒団して今があることです。第 31 代指揮者としての自分がなかったら、今の私はありませんでした。

今日、創立 110 年のこのような大切な演奏会に、こうして私に指揮する機会を与えてくださったこと、心から感謝いたします。大変光栄に存じます。

同志社グリークラブの未来を照らす現役諸君とともに、精一杯、心を込めてステージに立たせていただきます。



指揮者／同志社グリークラブ技術顧問 伊東 恵司

1990 年同志社大学を卒業（ポストモダン芸術論を専攻）同志社グリークラブ学生指揮者として福永 陽一郎に師事。90 年以降多数の合唱団で合唱指導を開始。99 年から出場した全日本合唱コンクールでは「なにわコラリアーズ」の 10 年連続金賞を始め複数の合唱団で 19 個の金賞（10 度の特別賞）を受賞。宝塚国際室内合唱コンクール 20 周年記念大会では海外の団体をおさえ総合グランプリを獲得している。現在は、全国各地で審査員や合唱指導を引き受けるほか「アルティ声楽アンサンブルフェスティバル（京都）」「コーラスめっせ（大阪）」等の新規合唱フェスティバル、学生指導者合宿、世代間を取り結ぶ「京都のわらべ歌プロジェクト」の企画等、合唱を使った多彩な仕掛けを行っており広く各方面からの注目も浴びている。大阪府・京都府合唱連盟理事、日本合唱指揮者協会関西支部事務局次長、21 世紀の合唱を考える会合唱人集団「音楽樹」会員。11 年カワイ出版より「スチューデントソングブック（共編著）」を上梓。近年では「みなづきみのり」のペンネームで作詞活動を展開。松下耕、高嶋みどり、千原英喜、信長 貴富、相澤直人、松本望、北川昇…等の作曲家により合唱曲が多数作られている。

【演奏会に寄せて】

私とともに全国大会を目指してチャレンジした合唱コンクールでしたが、残念ながら関西大会では関西学院に及びませんでした。音楽が勝ち負けではないということは自明のことではありますが、人生を左右するのでないけど懸命に頑張りたい運動会と同様、現在の同志社グリークラブにとっては、技術を上げるため、力を付けるため、明瞭な結果の出るコンクールは良い試練とチャレンジの場にもなっております。悔しさを胸にさらに立派に育ってくれることでしょうか。何しろ私の目標は合唱コンクールなどより遙か遙か向こうですから、小さな達成感で「自分で自分を褒める」ようなことなどなく、挫折や悔しさや無念を糧に夢をどんどん膨らませてほしいと思います。

さて、私自身の現在の音楽活動は全て同志社グリークラブの存在によって発芽し、開かれてきたものです。私がそこで出会った先生や先輩や後輩たちとの活動を一生の財産にしている以上、私の使命はこの同志社グリークラブが生命を輝かせながら歌声を響かせるのを見守り続けることでしょうか。長い歴史があるからと言って、守るものなど何もありません、その時々々の現役生がひたむきに歌うことの連続が振り返れば歴史になるだけです。熱く熱く歌うこと、それだけを目標に、精一杯導いていきたいと思っています。

私は本当は「技術など知らん、魂で歌い続けろ、同志社グリークラブ！」とのみ連呼していきたいのです。



作曲家 信長 貴富

1994 年上智大学文学部教育学科卒業

1994・95・99 年朝日作曲賞（合唱曲）

1998 年奏楽堂日本歌曲コンクール作曲部門第 1 位

2000 年現音作曲新人賞入選（室内楽曲）

2001 年日本音楽コンクール作曲部門（室内楽曲）第 2 位

合唱作品のほかに、歌曲、室内楽、邦楽器のための作品など。「信長貴富歌曲集」ほか出版多数。主な作品に「子どもたちの遺言～童声合唱と管弦楽によるオラトリオ」、「バラッド」（室内楽曲）、「Fragments～特攻隊戦死者の手記による～」(歌曲・合唱曲)、「新しい歌」（合唱曲）などがある。

祝 同志社グリークラブ 第 110 回定期演奏会

桜コンサルタント社・マレーシア

社長 諸江 修（昭和 59 年卒）

マレーシアの日系企業を法的にサポートするコンサルタント

桜コンサルタント社は、マレーシア国内の日系企業への労務及び法務コンサルティング、翻訳・通訳業務、マレーシアへの企業進出のサポート業務の提供しています。

Sakura Consultants (M) Sdn. Bhd.
No. 58C, Jalan SS15/4D, 47500 Subang Jaya,
Selangor, Malaysia
TEL.60-3-5638-3001

<http://www.sakura.net.my/>



Profile



◇ピアニスト 萩原 吉樹

12歳よりピアノを始める。滋賀県立石山高校音楽科、京都市立芸術大学音楽学部ピアノ専修卒業。ワイオミング州立大学大学院より奨学金を受け、同研究科に2年間在籍。Performer's Certificate(演奏家証書)を取得。米国各地で演奏会に出演。帰国後、京都市立芸術大学大学院音楽研究科修士課程修了。現在、ソロとアンサンブル、またオーケストラ鍵盤楽器奏者として活動中。

ワイオミング大学コンチェルトコンクールに入賞、同大学オーケストラとプロコフィエフのピアノコンチェルトを共演。ヒルトンヘッド・アイランド国際ピアノコンクール(米国)にてディプロマ賞を受賞。京都市音楽使節団に選出され中国(西安市)を訪問し音楽会を催す。平和堂財団より新進芸術家奨励賞を受賞。京都フィルハーモニー室内合奏団とモーツァルトのピアノコンチェルトを共演。

ピアノを椿久美子、田隅靖子、ゲアリー・スマートの各氏に師事。パイプオルガンをマエリー・ジョーンズ氏に師事。1999年から2011年まで「(財)神戸市演奏協会」神戸市混声合唱団ピアニストを務める。現在、滋賀県立石山高等学校音楽科、京都女子大学非常勤講師。



◇ヴォイストレーナー 北村 敏則

京都市立芸術大学音楽学部卒業及び同大学院修了。音楽学部賞、大学院賞を受賞。ウィーン留学。第2回J.S.G. シューベルト国際歌曲コンクール第一位及び聴衆審査特別賞。第6回ボルツァーノ(北イタリア)歌曲コンクール第一位及びアダ・ヴェルバ賞。第一回青山音楽賞、京都市芸術新人賞を受賞。1994年姫路城世界文化遺産指定記念イベント、オペラ「おなつ・清十郎」の清十郎役に抜擢されオペラデビューを果たす。以後、中国二期会では「魔笛」「こうもり」、倉敷音楽祭では「ラ・ボエーム」、びわ湖市民オペラでは「シンデレラ」「マルタ」「ジプシー男爵」「フィガロの結婚」にいずれも客演として出演。関西二期会では2006年に「魔笛」でデビュー、続いて「愛の妙薬」「ナクソス島のアリアドネ」に出演。イギリス、イタリア、ドイツ、オーストリアでのオペラ公演の参加をはじめ、国内外でのリサイタル、日本各地でのコンサートに多数出演。ソリストとしてベートーヴェン「第九」をはじめとし、ヘンデルやハイドンのオラトリオ、モーツァルト、ヴェルディ、フォーレなどの「レクイエム」、オルフ「カルミナ・ブラーナ」などに出演し、その中でも「ヨハネ受難曲」「マタイ受難曲」のエヴァンゲリストとして高い評価を得ている。これまでに蔵田裕行、田原祥一郎、B・ヴェルバ、K・エクヴィルツの各氏に師事。現在、シューベルト協会同人、関西二期会正会員、京都市立芸術大学准教授。



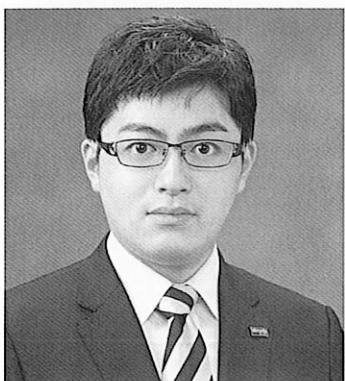
◇ヴォイストレーナー 石原 祐介

声楽家、合唱指揮者、ヴォイストレーナー。

京都市立芸術大学、同大学院音楽研究科声楽専攻を卒業、修了。卒業時に音楽学部賞を受賞。第21回飯塚新人音楽コンクール第2位。世界合唱連合(IFCM)主催World Youth Choir、World Chamber Choir元日本代表メンバー。

声楽を瀧井誠、山口はやとの各氏に、指揮法を青木邦雄氏に、合唱指揮を吉村信良氏に師事。また、T.カリュステ氏、E.オルトナー氏、松原千振氏による合唱指揮マスタークラスを修了。

現在、神戸市混声合唱団コンサートマスター。京都市立芸術大学非常勤講師。JCDA日本合唱指揮者協会会員。



◇第82代学生指揮者 安村 眞也

1992年10月23日、大阪府箕面市で生まれる。その後、3歳で愛知県豊田市に移り、高校卒業までの約15年を過ごす。中学生時に合唱に志を覚えクラス合唱に力を入れ、高校時には豊田市少年少女合唱団に入団、約2年と短い時間ではあったが、永ひろこ氏の下で女声合唱(同声合唱)を楽しむ。

父親が京都産業大学グリークラブ、母親が京都木曜会に所属しており、共に故吉村信良元全日本合唱連盟理事長の下で合唱とともに青春を過ごす。何の因果か当人は同志社グリークラブに入部したが、「どの男声合唱団の、どの時代の、どの全盛期よりも素晴らしい」あるべく、仲間とともに「日本一のグリークラブ」を目指してクラブに打ち込んでいる。

第110回定期演奏会に当たり、多田武彦氏が作曲した男声合唱組曲「雨」を学生指揮者曲として選曲した。男声合唱界の至高の名曲である「雨」をこの記念すべき演奏会で披露することに責任を感じているが、同志社110年歴史、そして彼の4年間を音楽の中で感じ取っていただけたら幸いである。

ウコンの力
NEW
新成分
ウコンの力に、ビスサクロン!

※清涼飲料水カテゴリーにて

クルクミン30mg + 新成分ビスサクロン400μg は、ウコンの力だけ。*

Stage 1

学生指揮者ステージ

男声合唱組曲「雨」

作 詩／伊藤 整 ほか 指 揮／安村 眞也
作 曲／多田 武彦

◆演奏するにあたって

第 82 代学生指揮者 安村 眞也

男声合唱組曲「雨」は、多田武彦氏の曲集には珍しく、複数の詩人による詩が使用されている。昭和 42 年、外山浩爾氏の指揮で明治大学グリークラブによって初演されて以来、多くの合唱団で歌われてきた。特に終曲の「雨」は、男声合唱の世界でも屈指の名曲といわれ、男声合唱に携わる者なら知らない者はいない、といっても過言ではあるまい。事実、多くのコンサートのアンコールやステージストーム、ロビーストームで終曲「雨」が演奏され、それぞれのコンサートの締めくくりとして歌われている。もちろん、終曲だけでなく、2 曲目「武蔵野の雨」なども、少人数のアンサンブルコンクールにおいて、美しく演奏されている。演奏されていく中で第 4 曲の差し替えもあったが、今でも色褪せない「詩」の力と多田武彦氏の「音楽」が見事に融合した至高の逸品であることに間違いはないだろう。

曲集としての「雨」が全曲通されている演奏会はそう多くはないように思う。筆者の浅薄な知識によるもののため、間違いがあればお許しいただきたい。明治大学グリークラブの初演のほか、関西学院グリークラブの録音があり、また CD 音源として吉村信良氏指揮の京都産業大学グリークラブの演奏が残っている。我が同志社グリークラブは、昭和 55 年の第 21 回同立交歓演奏会で福永陽一郎氏の指揮で演奏されており、また昭和 61 年の同志社グリークラブ第 82 回定期演奏会において、第 55 大学生指揮者の中村洋先輩の指揮で演奏されている。(ちなみに、現役同志社グリークラブ技術顧問の伊東恵司氏が 1 回生の時であった。)

多田武彦氏は同志社グリークラブの音楽を、「藍色の深淵なハーモニー」という言葉で表現している。どの男声合唱団にもない、同志社グリークラブ独特の音色を見事に表している言葉であるように思う。このハーモニーこそ、同志社グリークラブが常に音楽を通じて聴衆の心に感動を呼び起こしてきたのである。「雨」の一曲一曲に、詩人たちの「詩」と、多田先生の「音楽」と、そして同志社の「藍色の深淵なハーモニー」が、それぞれの曲に絶妙に合った形で表現できるようにと肝に銘じながら演奏する所存である。

され、近年は爽やかな曲を演奏することが多かった学生指揮者ステージではあるが、110 周年という、100 周年から 10 年の節目の年であるので、あえて「男声合唱」という原点に立ち返るべくこの「雨」の演奏を決めた。この曲集を演奏することを受け入れてくれた 4 回生諸君、技術系諸君、そして私のステージを歌ってくれるグリーメンの皆に感謝したい。そして本日お越しくださっている全てのお客様に、「同志社グリークラブ、此処に在り」そう思っていただけなら幸いである。

1st Stage 歌 詞

一. 雨の来る前

／伊藤 整 作詩

ざあつとやって来いよ 夏の雨
地上のすべてのものは用意している。
山の麓から低くかぶさってしまつた雲よ。
夏の緑はうす暗い蔭におおわれ
物ほしに白いものがかり
燕は黒く曇天の下を飛び交い
人は重い頭をして室にいる。
降つて来いよ 夏の夕立
その時 始めて人の目はほつと開かれ
草木も葉を そよがせるのだ。

二. 武蔵野の雨

／大木 惇夫 作詩

群鳥を追いつながら
どの土地を濡らしにゆく
月の夜ごろを掠める雨
櫟の匂いのおんとする雨
武蔵野の雨

三. 雨の日の遊動円木

／大木 惇夫 作詩

雨の日の遊動円木
びしょびしょ濡れて、ただ光つて、
動くは低い雲ばかり。

雨の日の遊動円木
鐘が鳴つても、晝やすみでも、
ゆすぶるものは 風ばかり。

雨の日の遊動円木
落ちる銀杏葉、ゆうかりの葉
雀が吹かれて、乗るばかり。

雨の日の遊動円木
びしょびしょ濡れて、もう日も暮れて
八ツ手の花が 見ているばかり

四. 雨 雨

／尾形 亀之介 作詩

DORADORADO
TI-TATATA-TA
TI-TOTO-TO
DORADORADO

雨は
ガラスの花

雨は
いちんち眼鏡をかけて

五. 雨の日に見る

／大木 惇夫 作詩

冬、ほのぐらい雨の日は
朱栞が輝く、
朱栞が……

これは、眼をひらいて見る夢なのか。

街燈は ぬれている、

泥靴は喘いでいる、

風は雀をふつ飛ばしている。

人間の後姿はいそいでいる、

歌は絶えている、

電線は牽っている、

枯木はふるえている、

わたしの身体は凍えている

わたしは祈りをわすれている。

そうして、わたしはただ見る、

ほのぐらい雨の影のなかに

ぼつかり朱栞の浮ぶのを 輝くのを。

六. 雨

／八木 重吉 作詩

雨のおとが きこえる

雨がふつていたのだ。

あのおとのように そつと世のためには

はたらいていよう。

雨があがるように しずかに死んでゆこう。

Stage 2

110周年記念OB 合同ステージ

『Hail Our GLEE CLUB』

指揮／安村 眞也

昭和29年(1954年)の同志社グリークラブ創立50周年記念演奏会の時、クラブに部歌がないことが問題となった。昭和9年(1934年)に作られた三輪源造作詞・大中寅二作曲の「グリークラブの歌」の楽譜があったものの、当時の部員が部歌として復活させることに難色を示したため、アーモスト大学歌集にあった「Alma Mater」を新たな部歌として採用することとなった。この一件以来、今日まで同志社グリークラブで歌い継がれている。指揮は、第82代学生指揮者の安村眞也である。

『椰子の実』

作詩／島崎 藤村 編曲／林 光 指揮／伊東 恵司
作曲／大中 寅二 再編曲／福永陽一郎 ピアノ／萩原 吉樹

「椰子の実」は島崎藤村が執筆した詩であり、この詩は1898年(明治31年)の夏、1ヶ月半ほど伊良湖岬に滞在した柳田國男が浜に流れ着いた椰子の実の話を藤村に語り、藤村がその話を元に創作したものである。昭和11年、同志社グリークラブ出身である大中寅二氏によって曲がつけられた。2007年には「日本の歌百選」に選定されており、現在でも広く愛唱されている叙情歌である。今回は大中寅二作曲のものに林光氏が編曲し、さらに福永陽一郎氏が再編曲を施したものを演奏する。今回指揮をするのは、福永氏の「最後の弟子」であり、現役技術顧問の伊東恵司氏である。

『赤とんぼ』

作詩／三木 露風 指揮／浅井 敬壹
作曲／山田 耕筈
編曲／福永陽一郎

福永陽一郎氏が技術顧問としてはじめて同志社グリークラブを指揮した曲が、「赤とんぼ」である。昭和36年(1961年)、京都会館第一ホールで行われた、「創立56年度卒業生のためのフェアウェルコンサート」で演奏された。福永氏を技術顧問として依頼したのは昭和36年(1961年)の事であり、当時学生指揮者だった浅井敬壹氏らの尽力によりこの「奇跡」は実現した。そして今日、第110回定期演奏会という場で、浅井敬壹氏の指揮で福永氏編曲の「赤とんぼ」を演奏する。これもまた、同志社グリークラブの長い歴史の中の「奇跡」ではないだろうか。

『詩篇98 新しき歌もて』

編曲／平田 甫 指揮／日下部吉彦

同志社グリークラブの伝統歌でもあるこの「詩篇98」は、大正4年ごろからすでに歌われているほど歴史の長い歌である。当初はA-dur調で、「新しき歌をエホバに向いて唱え」というものであった。大正7年卒の平田甫氏曰く、それまでピアノで歌っていた終わり(アーメン)の部分、試しにオクターブ上げ、さらにフォルテシモにしたところ、演奏会向けになったらしく、以来この形で歌われている。なお、歌われていた当初の楽譜ではA-durだったが、福永陽一郎・北村協一両氏編著の合唱曲集「グリークラブアルバム1」(カワイ出版)や現役が使用している愛唱曲集ではAs-durとなっている。この伝統の歌を指揮するのは、同志社グリークラブOBであり、日本の合唱界に多大な功績を残してきた日下部吉彦氏である。「同志社グリークラブの音楽」を、ぜひご堪能いただきたい。



2nd Stage 歌詞

椰子の実

名も知らぬ 遠き島より
流れ寄る 椰子の実一つ
故郷の岸を離れて汝はそも波に幾月
旧の樹は生ひや茂れる
枝はなほ影をやなせる
われもまた 渚を枕
孤身の浮寝の旅ぞ
実をとりて胸にあつれば
新なり流離の憂
海の日沈むを見れば
激り落つ異郷の涙
思ひやる八重の潮々
いづれの日にか国に帰らん

赤とんぼ

夕焼、小焼の
あかとんぼ
負はれて見たのは
いつの日か。

山の畑の桑の実を
小籠に摘んだは
まぼろしか。

十五で姐やは
嫁に行き
お里のたよりも
絶えはてた。

夕やけ小やけの
赤とんぼ
とまつてゐるよ
竿の先。

詩篇98 新しき歌もて

新しき歌を主にむかってうたえ。
主はくすしきみわざをなされたからである。
その右の手と聖なる腕とは、
おのれのために勝利を得られた。
主はその勝利を知らせ、
その義をもろもろの国民の前にあらわされた。
主はそのいつくしみと、まこととを
イスラエル之家にむかって覚えられた。
地のもろもろのはては、われらの神の勝利を見た。
全地よ、主にむかって喜ばしき声をあげよ。
声を放って喜び歌え、ほめうたえ。
琴をもって主をほめうたえ。
琴と歌の声をもちてほめうたえ。
ラッパと角笛の音をもって
王なる主の前に喜ばしき声をあげよ。
海とその中に満ちるもの、
世界とそのうちに住む者とは鳴りどよめけ。
大水はその手を打ち、
もろもろの山は共に主のみ前に喜び歌え。
主は地をさばくために来られるからである。
主は義をもって世界をさばき、
公平をもつてもろもろの民をさばかれる。

(旧約聖書 詩篇 第98篇より 日本聖書協会出版)



Stage 3

委嘱作品 初演

男声合唱とピアノのための《帆を上げよ、高く》

作 詩／みなづきみのり 指 揮／伊東 恵司
作 曲／信長 貴富 ピアノ／萩原 吉樹

◆曲目解説

作曲者 信長 貴富

同志社大学グリークラブの記念すべき第110回演奏会のために作曲の機会をいただき、感謝とともに身が引き締まる思いです。今回は特に同志社大学をイメージして書かれたというみなづきみのり氏の三つの詩を得て、必然性を感じながら作曲に取り組めたことは大きな幸せでした。

作曲にあたっては、詩の内容に合致する音楽を目指すことはもちろん、各曲のスタイルに明確な性格を持たせることを考えました。

「1. 翼よ、お前の空を翔ろ」では、空を翔る鳥の動感や速力を感じさせる楽想を試みました。合唱パート、ピアノパートそれぞれに無窮的な十六分音符の運動が見られます。詩の内容をメロディにのせて伝えるという発想からは距離を置いており、詩の原文と作曲上のテキスト配置はかなり異なっています。

「2. 春愁のサーカス」では、詩に登場するピエロの所作や、サーカスという舞台設定の雰囲気を表すためにスケルツォ風の楽想を主軸に置いています。一方、心情を歌い上げる壮大なコーラルも配されており、めまぐるしく場面転換する様子も曲を特徴付けています。

「3. 帆を上げよ、高く」ではパルランド的な独唱による短い序奏のあと、B dur によるのびやかな旋律が展開していきます。途中、現代旋法による「荒波」が挿入されたのち、出航の決意が再びB durで力強く歌われます。古典的なイディオムに重きが置かれている楽章です。

指揮の伊東恵司先生、ピアノの萩原吉樹先生、同志社大学グリークラブの皆さん、初演を楽しみにしております。

◆曲目解説

作詞者 みなづきみのり

3つの歌詞は、同志社グリークラブによって歌われる合唱曲になることを想定して書きだしたのですが、当初力み過ぎていたものを信長先生からのアドバイスを頼りに何とか修正を重ね、素晴らしい曲にさせていただくに至りました。信長先生の「言葉から音楽を喚起する力の素晴らしさ」に瞠目すること頻り、この作曲家と同時代を呼吸していることの幸せを感じます。

■「翼よ、お前の空を翔ろ」

自由とは「自分らしさを発揮する機会を保障された状態」と言えるのではないのでしょうか。それは徳育の基礎にするキリスト教精神とともに、声高に叫ぶものではなくアトモスフェアとして同志社に流れているものだと考えます。

■「春愁のサーカス」

音楽と人生の奥底から湧き出る哀歓をイメージしました。大地と空を結ぶものとしての音楽、大地に生き空に憧れるものとしての私たち。苦悩、共感、孤独、憧憬、喜び…人生の諸相に深く関わろうとする音楽こそ、同志社グリークラブの伝統に息づく、魂の音楽ではないのでしょうか？その脈打つ歴史と恩人へのオマージュも含め。

■「帆を上げよ、高く」

新島が志高く脱国を決意したのが20歳、実行したのは21歳の時です。大学生がまさしくそのような年代であることを強く意識した歌詞としました。途中に挿入される英語の言葉は、寒梅館（旧学生会館の緞帳）の正面にも刻まれた同志社グリークラブにも馴染み深い新島の言葉の引用です。



3rd Stage 歌 詞

1. 「翼よ、お前の空を翔ろ」

翼よ
お前の空を翔ろ
少年のように
青年のように
白雲を追いかけて、夜明けの鳥を抜きさる

翼よ
お前の海で眠れ
月光を浴び
星を見つめながら
波に耳を寄せ、思い出に包まれて眠れ

翼よ
お前の作る光で輝け
全身に気持ちを漲らせよ
勇気を鍛えよ

翼よ
お前の見つけた木陰で休め
呼吸を整え、力を蓄えよ
何も憂うことはないのだ
何も躊躇うことはないのだ

翼よ
風を知れ
お前が見つめる草原で

時を読め
お前の中で脈打つ鼓動の中で
そして
再び空を見上げよ
飛び立つために
駆け廻るために

私はお前を見守り
お前の中にいる
そして私はお前の空となる
物語が始まり、終わるまで

しかし
翼よ
何者も
お前に代わる者はない

全力で
空を翔ろ
翼よ

何者にも束縛されない
自由という名のお前の空を

2. 「春愁のサーカス」

やがて哀しきピエロの君よ
月の光のステージで
零れ落ちる宇宙の音を
全身に浴びる君
差し出した手にリラの花びら集め
隠した拳で星屑握り締める君
若草の衣装を纏った
春愁のピエロよ

やがて儚きピエロの君よ
細長い身体を屈め
自らの鼓動に耳を傾けながら
笛を吹く君
俯いた肩で人を欺き
見上げた額で空に願う
とんがり帽子の
笛吹きピエロよ

君は何も語らない
君の命の躍動は
折り畳んだその長い指先の骨に

君は何も示さない
君の嘆きと共感
不器用に頬を擦るその手の甲に

唐突に
君は立ち止り月を見詰めて手を差し上げた
僕らの呻くような魂を
捧げものにするようにして

そしてまた唐突に
君は僕らのもとを離れた
哀しい微笑みを残して
出番は終わったとばかりに

春愁のピエロよ
君は月に照らされて
いつも笛を吹いていた

春愁のピエロよ
その魔法の指先よ
僕らは幾度も夢を見る
君のしぐさに
その音に
永遠（とわ）の時間を感じながら

ああ
ピエロよ
今は遠い空の彼方に佇む君よ
雲のカーテンを開き
ありったけの月明りで僕らを照らせ
ああ
愁いある指先よ
笛を取り
奏でよ
やがて来る夜明けまで

3. 「帆を上げよ、高く」

始まりがいつだったのか
誰も知らない
最初に手にしたもののが何であつたか
誰にも分からない
今がどのあたりなのか
どこに向かうのか
答えられる者など誰もいない

一滴の涙が海になるのではない
一人の冒険者が歴史になるのではない
我々は今 目の前にある帆柱を見上げる
その意味と向き合いながら
遥かに繋がっていく命の証として

波の音が聞こえる
繰り返される問いかけのように

潮の香りがする
岸壁に砕け散り
覚悟を促すように

時が来たのだ
今、出航（ふなで）の合図が聞こえる
帆を上げよ
帆を上げよ
高く

故郷を離れ
翳りかけた果実を投げ捨て
海原を越えて行け
荒波を越えて行け
風を受けろ
嵐を耐えろ
飛沫を浴びろ

志高い青年よ
二十歳（はたち）の海を越えよ
風に帆を張り
鼓動をエネルギーとしながら

心の中にいる永遠の青年よ
額を高く上げて進め
彼方からの曙光を全身に浴びるのだ

Go, go, go in Peace
Be Strong
A Mysterious Hand will guide you
(新島襄)

憧憬（あこがれ）を夢とはためかせ

さあ、熱く生きよ
我ら
海を越えて明日（あした）に生きよ

Stage 4

客演指揮者ステージ

ロシア革命詩人による“十の詩曲”より 「六つの男声合唱曲」

訳 詩／安田 二郎 指 揮／浅井 敬壹
作 曲／D.Shostakovich
編 曲／福永陽一郎

客演指揮者 浅井 敬壹

◆曲目解説

原題は「革命詩人の詩による十の詩曲」である。ジダーノフ批判と呼ばれる、ソビエト連邦共産党中央委員会による前衛芸術批判と統制、つまりは社会主義リアリズムに反する芸術への弾圧の起こったすぐ後、作曲家ショスタコーヴィチは、自身が受けていたソ連当局からの冷遇を排するために「森の歌」を作曲しているが、この「革命詩人の詩による十の詩曲」は、その「森の歌」に続いて作曲されている。

ロシア革命によって帝政ロシアが崩壊し、国民はすべて平等といふ共産主義が生まれた。その喜びをショスタコーヴィチが音楽にしたもので、帝政時代の苦しみから、革命が成功するまでを歌い上げている。ショスタコーヴィチは、当時の体制に迎合したプロパガンダ作曲家として語られることも多いが、実は、彼自身が求めていた音楽と、体制から求められる音楽との間の隔たりを、彼自身が感じていたものと、今ではとらえられている。

今日演奏させていただく「十の詩曲」は、私の師であり同志社グリークラブを導いてくださった福永陽一郎先生が1965～1968年にかけて編曲された男声合唱曲6曲である。また当時の楽譜表紙には、福永先生のペンネームである安田二郎の名で「訳詩」ではなく「作詞」と記されている。安田二郎という名は、太平洋戦争で命を奪われた、福永先生の御親友お二人から取られたものであり、そのかけがえのないお名前で、福永先生はこの男声合唱曲を作られたのである。そこに、福永先生の本当の、切なる思いがあるのだと私は思う。今なお止まない戦火の犠牲となられた、かけがえのない命への想いが、この曲をより普遍的なものにしている。また、この曲は1965(昭和40)年、私が同志社グリークラブを卒団してまもない年の東西四連で、福永先生の指揮によって初演されている。これは最近知ったことであるが、当時、ベトナム戦争で公開銃殺刑に処せられたベトコン(南ベトナム開放民族戦線)の少年に捧げられた演奏であったとのことである。人民解放軍の戦士であった少年の死と、ロシア革命で流された尊い血は、戦争でかけがえのない親友を亡くされた福永陽一郎先生の胸中で重なり、そこに男声「十の詩曲」は生まれた。

その曲を、定期演奏会で演奏したいと、最重要候補曲として現役生が挙げてきてくれた。それなら、と、私も彼らの熱意に応えるべく、これを選曲した。私はこの曲の混声版を、京都エコー創立10周年の記念ステージで全曲演奏したのだが、もう40年も前、33歳のときである。

今を生きる現役生諸君が、この歌に何を思い、何を込めるのか。それは、今、彼らと同じ時を生きている私への課題でもある。今日お聴きくださる皆様が、演奏の中にその答えを何かしら感じてくださることを願いつつ、精一杯、演奏させていただきます。

4th Stage 歌詞

一・雄々しく進もう

雄々しく進もう 力を合わせて
吹き荒れる風に 負けずに立ち向かえよ
目指すは夜明けぞ 希望あふれる朝
陽の光 満ちて 黒雲 消えゆきぬ
今こそ目を覚ませ 晴れたる空に
旗はひるがえり 祖国に春が来る

二・果てなき荒野

自由の夢はるかに 若き生命はかなく
希望に燃えた過ぎし日の 熱くたぎる生命を
踏みしめるこの寒さよ
冷たき夜の静寂に 胸の底 凍えて
悲しき仮寝の夢は 果てなき荒野彷徨い
恐怖におののく時 果てしなき彼方差して
祈りの声きこえ

されど 牢屋は閉ざされ 暗き運命 終りなく
捕らわれし我等 若き生命
はかなく消え去りぬ
希望も夢も消え去りし我等 暗い月日よ
されど 正義の炎 赤く燃え
裁きの日は近づく その赤く燃ゆる正義の火よ
いまこそ照らせ

三・死刑の戦士

牢屋は暗く沈み 死を待つ二人の若者
我等 同じ運命に捕えられて
胸に忘れず刻む 闇 暗く迫りて
つぶやく声ひくく牢屋に流れゆく

四・怒りの日

血潮は沸きて 怒りはたぎる
新たな犠牲ここに 死せるもの 黙して眠る
湧きあがる 激しい心こめた声
貧しい民のひくい声 つぶやく祈り
心こめて しいたげられし人々は
空の彼方を仰ぎ見る

死にゆきし者に栄光あれ
血ぬられた者に平安を
聞かずや人よ しいたげられし民の声を
絶え間なく続く戦闘に
逃げるすべもなく駆り立てられ
苦しみ今は果てもなし
真昼も暗い死せる世界
若者の生命 幼な児の生命 守り抜け
逃げるすべなき戦闘に

誰のためにするこの戦さか
希望を与えよ 我が友よ 教えてくれ
逃げるすべなき この戦よ
応答はなく 静寂を破る足音
あがる銃声 耳を裂き
撃ち出す砲丸は雨と降り
野原に屍 うず高く

おお このうめきを忘れるな
死にゆく者の怒りもて 敵をたおさん
血潮は沸きて 怒りはたぎる
むごき銃声 まだ続く
血潮は沸きて 怒りはたぎる
血潮は流れ 赤黒く
油と泥にまじりゆき 世界の息子 娘たち
よみがえらせるすべもなし
血潮は沸きて 怒りはたぎる

五・鎮魂歌

陽は落ち 銃声も はや絶えぬ
流れし血の色も
なお残る兵士の浅き夢
倒れし屍に 悲しみのうめきをもらしつづ
冷たき風吹きて渡りゆく

眠れよ安らかにわが友よ
東方の空 白く明るみぬ
戦い傷つきしわれもまた
新たな戦闘に出で発たん
眠れよ安らかに 友よ

深い霧立ちこめる真夜中に
明日への誓いを固めつづ
東方の空 白く明るみぬ
永遠に忘れじ 汝が誓い 眠れよ
陽は落ち 銃声も はや絶えぬ
流れし血の色も なお残る兵士の浅き夢

六・歌

死せる者に 涙も悲しむを止めよ
強く立ちて進む者 受けてよわが歌
たおれし者
過ぎし日の歌を思い出せ
胸に燃え立つ炎は 怒りを秘めつづ 涙ぬぐい
勇士らの功たえつづ
双手高く差しのべて 誓いも新たに
死せる友の心 継ぎ 立ち上れ今ぞ
地上の平和 求めつづ 礎 ぎずかん
世界の幸福 求めつづ 手に手を取り合い

眠 開き 悲哀の霧の彼方見よ
夜明けすに近づきで 湧きあふれる歌

行け わが歌 飛びゆけ 翼に乗り
行け この歌 翼もて
高く駆けりてゆけ 若き力
たゆみなく 限界なく進め

響け とどろけ 高らかに
遠く地の果てまで 若い世界
栄光あれ 自由の鐘が響く
行け この歌 戦闘 突きぬけて
あらゆるものの生命を
燃え立たせるため

山の彼方まで 海を越えて
行け わが歌 飛びゆけ
明るい陽よ 春の陽よ
希望 満ちあふれ

重き運命 洗われて
暗闇 去りゆく
大地深く 息づける 希望の生命 見よ

聞け とどろく海鳴りを
どとす雷鳴 生命に目覚し春に
湧きあがる歌よ
さやかに朝風は吹き
よみがえる大地
小川の水は碧みて せせらぎはうたう

花咲く春の朝に 大空 見上げて
われらが声の限りにうたう自由の歌
われらの歌声よ
響きわたれ いざ!

【特別企画】～技術顧問にインタビュー～

Special Interview 伊東恵司 × 学生指揮者スペシャル雑談

【安村】せっかくの機会ですのですは、伊東先生の「知られざる過去」の話から聞いていきたいと思います。伊東先生がグリーライフの中で関わってこられた、先輩方との思い出を教えてくださいませんか？

【伊東】思い返すとたくさん話があるけど、例えば『季節へのまなざし』3曲目「みる」の一部分を（満ち満ちる蜜蜂の…）の部分で、奥村さん（奥村圭司／昭和63年卒、セカンドパートリーダー）にボックスで100回くらい歌わされたことは、今でも思い出ですね・・・

【安村】その話は何度か耳にしたことがあります（笑）

【伊東】そのことも含めて、いい先輩に囲まれて沢山のことを教えてもらったよ。

【安村】なるほど。では、先輩と後輩の関係はどうあるべきだとお考えですか？

【伊東】やっぱり後輩からは、あの先輩は凄いなと思わなければいけないと思うね。

先輩は意地でも自分たちの役割を全うする。影で泣いて影で努力していても、後輩の前ではそんな姿は見せずに先輩としてカッコよく振る舞う。だからフラットな関係とかでなく「先輩と後輩の文化」は美しくあってほしいね。もちろん、同志社グリークラスでもそうあってほしい。

【沖村】なるほど。しっかりと受け継いでいかないとはいけませんね。



【安村】ところで、こんなこと聞いていいのかわからないんですけど…、現役の時、伊東先生はモテたんですか（笑）？

【伊東】うーむ。まあ、そうかな。でも、僕は芸術と音楽のことしか考えてなかったんで、女の子には関心がなかったけど。

【安村、沖村】（笑）

【伊東】昔は同志社グリーにいたら誰でもモテたね。当時は女子大にも合唱団がたくさんあって、「同志社グリーの団員と知り合いである」ことが女子大生のステータスのようなものだったからね。

【安村】今じゃ考えられないですね（笑）

【伊東】いろいろチャンス作ってあげているのに、モノにできていない同志社グリーの現状を、何とかしたいね（笑）

【沖村】話は変わりますが、福永先生（福永陽一郎／指揮者、かつての同志社グリークラス技術顧問）は伊東先生にとってどのような存在でしたでしょうか？

【伊東】福永先生と関わりがあったのは僕だけじゃないけど、先生はやはり全てにおいて師匠だね。まず生き様というか、振舞いというか、言動というか、全てが凄かったね。福永先生が指揮をしている姿を見た瞬間に指揮者になりたいと思ったし、福永先生が指揮をしている時は、僕はそのまま倒れてもいいと思って歌っていたなあ。

【安村】そういえば福永先生を最初にお呼びしたのは浅井敬壹先生でしたよね？

【伊東】そうだね。僕はちょうど最後の弟子になるかな。浅井先生と僕の二人の指揮者がいるってことも、今回の定期演奏会のドラマだね。

【沖村】そういえば、福永先生は「安田二郎」というペンネームをお持ちでしたね。

【伊東】そうそう。福永先生に安田二郎ってペンネームがあることは、憧れでもあったし嬉しくもあったね。先生とはヘッセやロマン・ロランの話もしたよ。自分で訳詞を書いてまでもいろんな曲を学生たちに歌わせようとする。そういうところから、全身全霊でアマチュア合唱と向き合っている感じが伝わってきて、何より合唱に対する愛情みたいなものを感じるよね。

【沖村】作詩を始められた理由もそこにあるのでしょうか？

【伊東】いや、そういうわけじゃなくて、これはもう沢山の人が知っていることだけど、淀川混声合唱団の団員の結婚式で、「（団員に送る）歌を作りたいから、歌詩を書いてもらえませんか」と北川昇（作曲家）に頼まれたのがきっかけだね。

【安村】あれ、そうだったのですか？（笑）

【伊東】僕自身は現役時代から、曲や演奏の分析とか曲のテキストとかの解釈も好きだったし、そもそも専門は映画だったし、もともと文学的なことも好きだったからね。そういうこともあって、じゃあ自分も書いてみようとか作詩活動も始めたというわけだね。指揮者は音出せないからね、溜まったストレスを発散しているようなもの。

【沖村】詩はどこで書いているんですか？

【伊東】新幹線に乗っている時とかかな。移動中の空いた時間に。

【安村】みなづきみのり（伊東先生のペンネーム）の詩はそういうところから生まれているんですね（笑）

【安村】それでは最後に、今後やってみたいこととかあれば教えてください。

【伊東】合唱劇をやってみたいねー。地域と大学生が連携して行う合唱劇。

【沖村】面白そうですね！

【伊東】かつて学生支援課勤務時代に、地域連携の取組でコールフリーゲルのサマーコンサートを地域の人たちと一緒に取り組む合唱劇のプロジェクトと合体させて行なったことがある。同志社グリーの先輩たちにも手伝ってもらったよ。子供たちの面倒を見たり、地域の方々と協力して小道具を作ったりして、一緒にやった近所の人たちには定期演奏会に来てもらったりして、多世代の中で新しいコミュニティが連鎖的に作られていくのが面白かったね。言葉と仲間を持つ合唱の可能性の一つだと思うね。

【安村】ちなみに合唱劇のテキストや曲はあるんでしょうか？

【伊東】そこから新しく作ってみたいなーと。いろんな作曲家や作家や演劇人を巻き込んで一緒にやろうかなって思っているよ。楽しそうでしょ。

【沖村】詩を書いたり、新たなイベントを企画したり、伊東先生劇場は止まりませんね（笑）

【一同】（笑）

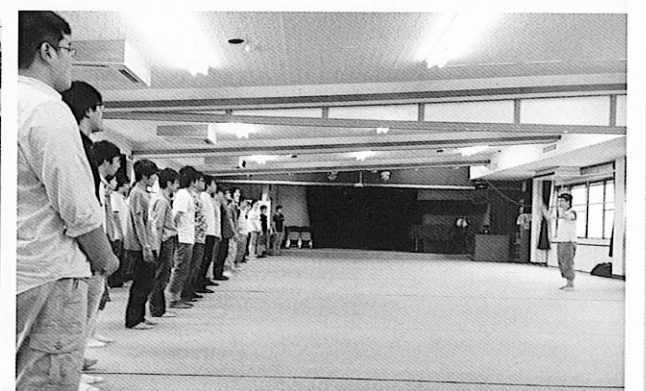
【安村】この勢いで全日本合唱連盟理事長を目指してください！



～ 祝 同志社グリークラブ 110 周年 ～

林間学校・自然学校・合宿・スキー・修学旅行・社員研修

各種合宿受け入れ中です。お気軽に御相談ください。



ホテル
谷 常
氷ノ山・後山・那岐山国定公園



〒667-1124

Tel. (079) 667-8316

兵庫県養父市丹戸八チ高原

Fax. (079) 667-8318

<http://www.tanitsune.com>

e-mail: tanitsun@tanitsune.com

2013

- 12月1日 第109回同志社グリークラブ定期演奏会〔京都コンサートホール 大ホール〕
- 12月14日 第46回武庫川女子大学音楽学部定期演奏会賛助出演〔武庫川女子大学中央キャンパス公江記念講堂〕
- 12月15日 コープこうべ クリスマスコンサート〔コープこうべ生活文化会館〕
- 12月24日 第49回全同志社メサイア演奏会〔京都コンサートホール 大ホール〕

2014

- 1月10、11、17日、2月12日 2014年前期総会
- 2月15日 第109期卒業生のためのフェアウェルコンサート〔同志社大学寒梅館ハーディーホール〕
- 2月19日 浪速少年院依頼演奏〔浪速少年院〕
- 2月24日～27日 春合宿〔同志社びわこリトリートセンター〕
- 3月20日～22日 秋学期卒業式参列〔同志社女子大学栄光館、デイヴィス記念館〕
- 3月28日 京都府視覚障害者協会 依頼演奏〔京都ライトハウス〕
- 4月1日～3日 春学期入学式参列〔同志社女子大学栄光館、デイヴィス記念館、同志社大学寒梅館ハーディーホール〕
- 4月19日 コーラスめっせ2014〔TWIN21〕
- 5月10日 対面式(新入生歓迎会)〔同志社大学神学館チャペル〕
- 5月31日 第51回京都合唱祭〔八幡市文化センター〕
- 6月21日 第63回東西四大学合唱演奏会〔京都コンサートホール大ホール〕
- 6月29日 田村康浩氏 叙勲受賞を祝う会 依頼演奏〔京都ブライトンホテル〕
- 7月5日 同志社交友会石川県支部懇親会 依頼演奏〔ANAクラウンプラザホテル金沢〕
- 7月7日 春日部市立豊春中学校との合唱交流〔同志社礼拝堂〕
- 7月17日 祇園祭「太子山」山鉦巡行に参列
- 8月11・12日 2014年後期総会
- 8月24～28日 夏合宿〔ハチ高原 ホテル谷常〕
- 9月1日 三大学合同コンサート in 福岡〔福岡市民会館大ホール〕
- 9月13日 日本宗教学会第73回学術大会 依頼演奏〔同志社礼拝堂〕
- 9月18日 鳥丸中学校文化祭特別合唱出演〔同志社大学寒梅館ハーディーホール〕
- 9月20日 第50回全同志社メサイア演奏会結団式〔同志社大学地下練習場〕
- 9月21日 京都府合唱連盟大学部会理事長杯(ソフトボール大会)〔御所グラウンド〕
- 9月27日 春学期卒業式参列〔同志社大学寒梅館ハーディーホール〕
- 10月4日 秋学期入学式参列〔同志社大学寒梅館ハーディーホール〕
- 10月10日 ABC放送「探偵! ナイトスクープ」出演関西地区放映
- 10月12日 第69回関西合唱コンクール出場〔伊丹市立文化会館いたみホール 大ホール〕
大学職場一般部門 大学ユース合唱の部(大人数)金賞受賞
- 10月25日 ヴォーリス・メモリアル in 近江八幡 依頼演奏〔近江兄弟社学園ヴォーリス平和礼拝堂〕
- 11月9日 同志社創立139周年記念リユニオン ホームカミングデー依頼演奏〔同志社大学今出川キャンパス内〕
- 12月7日 第110回同志社グリークラブ定期演奏会〔京都コンサートホール 大ホール〕

◇ 第63回 東西四大学合唱演奏会 ◇

6月21日(土)、京都コンサートホール大ホールにて第63回東西四大学合唱演奏会を開催いたしました。我々、同志社グリークラブは男声合唱とピアノ(四手)のための「遊星ひとつ」を技術顧問の伊東恵司先生の指揮のもと、41人で演奏しました。合同ステージでは男声合唱組曲「まだ見ぬあなたへ」を、同じく伊東恵司先生の指揮のもと、早稲田61人、関学59人、慶応29人、同志社41人の計190人で演奏しました。アンコールでは、委嘱初演の男声合唱曲「翼」を演奏し、合同曲・アンコール曲共々、男声合唱の満ち溢れるエネルギーと男声合唱の良さを表現できたのではないかと思います。演奏会には1362人の方々に来ていただきました。私の家族も揃って演奏会に来てくれ、昨年卒寿を迎えた祖母が目には涙を浮かべながら、「良かった」と言ってくれた事を今でも思い出します。

会計サブであった私が急遽、今年の1月の前期総会で東西四大学合唱演奏会担当外政に就任した時は、まだ右も左も分からない状態でした。現役は就職活動等で忙しく、助けを得にくい時期もありましたが、東西四大学合唱演奏会担当外政の前任者・前任者であった先輩方や、OBの大先輩の方々からの助言や支援をいただき、演奏会の運営を行うことができました。お忙しい中でありながら現役の為に助言や支援を下さったOBの皆様、本当にありがとうございました。(澤田 拓弥)



◇ 九州演奏旅行 ◇

2014年9月1日(月)に九州の福岡県にある福岡市民会館にて、九大混声合唱団、金城学院大学グリークラブ、そして我々同志社グリークラブの三大学によるジョイントコンサートが開かれました。例年、夏の時期の演奏会は京都で行っていましたが、今年は久々に遠征しての演奏会になり、何か新鮮なものを感じました。

我々は演奏会の単独ステージにて、部員59名で多田武彦作曲の男声合唱組曲「雨」を歌いました。尚、今回の演奏会は一回生の初の大きな舞台となりましたので彼らにとって良い経験になったと思えました。九州の方々に我々の歌声を届けることが出来たのも一つの収穫だと思います。演奏会最後の合同ステージでは三大学合同で、新実徳英作曲の混声合唱とピアノのための「花に寄せて」を歌いました。総勢約160名での合唱となりとても迫力のある演奏になりました。演奏会終了後は三大学で懇親会を行いました。それぞれ住んでいる地域が違う者たちで交流することが出来ました。

最後にこの演奏会を開いてくださった九大混声合唱団の執行部の皆様、また同志社グリークラブOBの皆様には大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。(山本 祐輝)



◇ 第69回関西合唱コンクール ◇

同志社グリークラブは10月12日に行われた第69回関西合唱コンクールに出場いたしました。四連後、何が何でも一位になって全国に進むという決意の元、コンクールに出場することを決めました。当然、この目標を達成するためには相当な鍛錬が必要であり、自分たちに頑張りがきれるだけのエネルギーがあるのか不安に思ったこともあります。ところが、私の不安をよそに後輩たちは本当によく頑張ってくれました。特に一回生たちの、がむしゃらに頑張る姿には多くの上回生が励まされたように思います。

本番の演奏に関してですが、自分たちにとっての最大限の力は出せたように思います。58名全員が魂を込めて演奏しました。しかしながら善戦虚しく、一位と1点差で全国行きを逃しました。私自身、この度の勝負にかけてきたこともあり人生で経験したことがない悔しさを味わいました。しかし、コンクールを通して感じることでできた部員たちの熱い思いや、最後まで諦めない姿勢は実に清々しく、そのような仲間と悔いの残らない演奏ができたことは、自分にとっての一生の財産になったと感じております。4回生が果たせなかった夢はいつの日か、後輩たちが叶えてくれると信じています。

最後になりましたが、この度のコンクールにおいて、応援していただいた関係者の皆様に心より感謝申し上げます。

(小林 聖)



日本教育旅行

<http://www.net-freeway.com>

合宿・ゼミ旅行・温泉・ボード旅行など
お気軽にご相談下さい。

日本教育旅行株式会社
2 600-8155 京都市下京区西玉水町 287
TEL:075-351-0405
FAX:075-371-7739
担当: 小林 未奈





同志社グリークラブ組織図

■顧問：岸 基史
■技術顧問：伊東 恵司

■ヴォイストレーナー：北村 敏則
石原 祐介
■専属ピアニスト：松井 萌

幹事長 小林 聖	ステージマネージャー 鈴木 寛弥	第82代学生指揮者 安村 真也
副幹事長 横山 将之	西垣 友裕 (サブ)	学生副指揮者 沖村 明彦
内政 多治見真孝	山口 晴 (サブ)	トップテノールパートリーダー 安村 真也
外政 (京都) 中村 直樹 (サブ)	桑原 大典	セカンドテノールパートリーダー 後藤 大介 (サブ)
渡辺 愛	森下 拓矢	梅野 哲平
金澤 陽貴 (サブ)	中川大治郎	工藤 優也 (サブ)
森下 拓矢 (サブ)	山本 祐輝	バリトンパートリーダー 正木 伸吾
間宮 樹 (サブ)	山本 祐輝	ベースパートリーダー 弓中 光雄
竹内 誉満 (サブ)	足立 挑 (サブ)	谷口 充弘 (サブ)
塩谷 渉 (サブ)	波多野航平 (サブ)	
外政 (東西四連) 澤田 拓弥	堀池 真平 (サブ)	
武田 直大 (サブ)	金澤 陽貴	
山口 巧 (サブ)	小林 聖	
堀池 真平 (サブ)	横山 将之 (サブ)	
	間宮 樹 (サブ)	
	中川大治郎 (サブ)	
	竹内 誉満 (サブ)	
	会計 伊藤 晃大	
	澤田 拓弥 (サブ)	
	藤井 隆亮	
	久保 雄一 (サブ)	
	西谷 祐輝 (サブ)	
	黒澤 優太 (サブ)	

同志社グリークラブ創立 110 周年記念事業 OB協賛名簿 (敬称略)

福永 嘉彦 (昭和26年)	真野 光長 (昭和38年)	桑山 博 (昭和44年)	中野 剛 (昭和54年)	八幡 諭 (昭和63年)
日下部吉彦 (昭和27年)	和気 豊夫 (昭和38年)	坂下 知司 (昭和44年)	矢ヶ崎一之 (昭和54年)	栃木 義博 (平成1年)
武井 怜治 (昭和27年)	後藤 健夫 (昭和39年)	小瀬 昉 (昭和44年)	梶浦 義人 (昭和55年)	松本 千尋 (平成1年)
都木 直文 (昭和27年)	中西 薫 (昭和39年)	坂東 憲治 (昭和44年)	千代澤修一 (昭和55年)	安池 倫成 (平成1年)
鈴木 健三 (昭和29年)	牧田 勝久 (昭和39年)	藤田 和久 (昭和44年)	中島 修二 (昭和55年)	伊東 恵司 (平成2年)
吉川悟一郎 (昭和29年)	牧野 章造 (昭和39年)	松本 公郎 (昭和44年)	落合 均 (昭和56年)	栗田 陽一 (平成2年)
吉田庄之介 (昭和29年)	山中 信興 (昭和39年)	大西 秀孝 (昭和46年)	常盤井志伸 (昭和56年)	池田 祐一 (平成3年)
今藤 勇 (昭和31年)	天田 祐 (昭和40年)	小石伊久男 (昭和46年)	岡崎 康高 (昭和56年)	岩田 正之 (平成3年)
澁谷 昭彦 (昭和31年)	磯部 俊英 (昭和40年)	高橋 博 (昭和47年)	紀伊 基雄 (昭和56年)	川口 晃司 (平成3年)
野村 忠 (昭和31年)	大熊 政次 (昭和40年)	坂倉 正信 (昭和48年)	今村 幸彦 (昭和56年)	鹿野 博志 (平成3年)
原 忠和 (昭和31年)	川北 純二 (昭和40年)	永田 裕 (昭和48年)	鈴木 恒一 (昭和56年)	吉野 暢人 (平成4年)
犬井 晃 (昭和32年)	白瀬 晋生 (昭和40年)	平井 雅則 (昭和48年)	多々 清爾 (昭和56年)	吉本 昌史 (平成4年)
寒河江 正 (昭和32年)	中川 清 (昭和40年)	橋本 晴海 (昭和49年)	奥田 茂弘 (昭和56年)	勝田 恒次 (平成5年)
山崎 途夫 (昭和32年)	畑 恵郎 (昭和40年)	中村 徹夫 (昭和49年)	芦田 直幸 (昭和57年)	林 克己 (平成5年)
岩垣 寛治 (昭和34年)	土生 邦彦 (昭和40年)	池田 周一 (昭和50年)	北尾 俊明 (昭和57年)	市之瀬 崇 (平成6年)
大友 慶介 (昭和34年)	林 泰夫 (昭和40年)	松村 俊明 (昭和50年)	吉田 宜生 (昭和57年)	谷本 啓 (平成6年)
新矢 起大 (昭和34年)	山田 至孝 (昭和40年)	新井 克次 (昭和50年)	筒井 隆文 (昭和57年)	川島 伸規 (平成7年)
村中 裕 (昭和34年)	竹上 一郎 (昭和40年)	井上 誠 (昭和51年)	池田 英生 (昭和58年)	島本 英年 (平成14年)
村橋 輝正 (昭和34年)	大原 康弘 (昭和41年)	河村 淳 (昭和51年)	上田 慎一 (昭和58年)	伊藤 稔 (平成15年)
森田 秀夫 (昭和34年)	北村 徹男 (昭和41年)	小林 郁夫 (昭和51年)	小田垣正美 (昭和58年)	奥貫 壮史 (平成15年)
山岡 義明 (昭和34年)	小室 泰司 (昭和41年)	田野 耕樹 (昭和51年)	高井 啓行 (昭和58年)	松本 崇 (平成15年)
山田 武彦 (昭和34年)	小亀 豊 (昭和41年)	村上 利行 (昭和51年)	須藤 彰治 (昭和59年)	蓮池 章弘 (平成16年)
芳崎 榮治 (昭和34年)	滝沢 裕人 (昭和41年)	伏村 淳二 (昭和51年)	豊田 尚紀 (昭和59年)	岩田 有正 (平成17年)
米田 治夫 (昭和34年)	村西 耕爾 (昭和41年)	高谷 博次 (昭和52年)	西山 勲 (昭和59年)	藤谷 真 (平成17年)
竹之内壽三 (昭和35年)	木下 利彦 (昭和41年)	八束 基義 (昭和52年)	鋒山 琢磨 (昭和59年)	山中 彰 (平成20年)
田坂 陽治 (昭和35年)	植松 康男 (昭和42年)	山下 裕司 (昭和52年)	諸江 修 (昭和59年)	辻 那由他 (平成21年)
塩路 良一 (昭和35年)	鹿野 勝 (昭和42年)	山本 英司 (昭和52年)	辻 透 (昭和60年)	小田 和司 (平成22年)
砂原 和彌 (昭和35年)	栗山 昭男 (昭和42年)	池田 雅次 (昭和53年)	西尾 強志 (昭和60年)	西田 拓也 (平成23年)
朝比 久雄 (昭和36年)	澁谷 和彦 (昭和42年)	稲熊 裕之 (昭和53年)	森 知史 (昭和60年)	川南 亮 (平成24年)
村田 由高 (昭和36年)	館 和道 (昭和42年)	徳山 康彦 (昭和53年)	山内 豊 (昭和60年)	池田 恭平 (平成25年)
盛田 恕正 (昭和36年)	湯浅 康平 (昭和42年)	松本潤一郎 (昭和53年)	中小路智一 (昭和60年)	白石 和之 (平成25年)
森本 潔 (昭和36年)	西村 肇 (昭和42年)	森島 敏夫 (昭和53年)	植田 慎一 (昭和61年)	村瀬 匡貴 (平成25年)
山田 英二 (昭和36年)	山根 巖 (昭和42年)	左巻 俊彦 (昭和54年)	斎藤 斎 (昭和61年)	荒木 泰人 (平成26年)
川本 葵 (昭和37年)	中根 敏雄 (昭和43年)	福澤 敬 (昭和54年)	高梨 純 (昭和62年)	石川 明彦 (平成26年)
三宅 健司 (昭和37年)	久野 春雄 (昭和43年)	藤井 俊之 (昭和54年)	中村 洋 (昭和62年)	江川 裕和 (平成26年)
吉実 祐捷 (昭和37年)	深木善治郎 (昭和43年)	山田 浩二 (昭和54年)	松本 裕士 (昭和62年)	ワイルドローバーズ
幸田 長明 (昭和38年)	柳原 高志 (昭和43年)	西山 知之 (昭和54年)	三宅 厚志 (昭和62年)	
田村 康浩 (昭和38年)	山根 廣 (昭和43年)	大西 一夫 (昭和54年)	奥野 和敏 (昭和62年)	
林田 慎也 (昭和38年)	川上 貴裕 (昭和43年)	大林 健 (昭和54年)	梅田 隆司 (昭和63年)	

TOP TENOR

金澤 陽貴 (経済4・春日丘)
鈴木 寛弥 (理工4・黒沢尻北)
渡辺 愛 (理工4・新島学園)
安村 真也 (法 4・豊田西)
足立 挑 (文 3・同志社)
後藤 大介 (理工3・北摂三田)
横山 将之 (経済3・南山)
東 大生 (政策2・同志社)
稲葉 厚介 (理工2・西尾)
加納 雄太 (法 1・山口)
国本 健吾 (商 1・西城陽)
竹岡 大志 (文 1・奈良)

SECOND TENOR

小林 聖 (理工4・岡山朝日)
武田 直大 (文 4・洛南)
多治見真孝 (理工4・帝京大学可児)
梅野 哲平 (理工4・西京)
工藤 優也 (文 3・岩手)
森下 拓矢 (理工3・科学技術)
沖村 明彦 (経済3・柳井)
藤島 雄磨 (心理2・伊那北)
細川 桂汰 (経済2・盛岡中央)
西谷 祐輝 (文 2・川西緑台)
山口 晴 (文 2・旭丘)
林 隆徳 (理工1・可児)
平松聡一郎 (文 1・北千里)
市来 颯斗 (理工1・天理)
小窪 圭知 (生命医科1・東北学院)

BARITONE

伊藤 晃大 (経済4・郁文館)
鈴木 崇大 (商 4・柏)
山本 祐輝 (理工4・明治学園)
桑原 大典 (理工3・虎姫)
間宮 樹 (経済3・清風)
正木 伸吾 (理工3・関西創価)
西垣 友裕 (法 3・清風)
山口 巧 (文化情報3・桑名)
同道 洋輝 (法 2・今宮)
堀池 真平 (理工2・太成学院)
中川大治郎 (政策2・福岡大学附属大濠)
塩谷 渉 (理工2・名大教育学部付属)
竹内 誉満 (経済2・半田)
服部 祥亮 (理工1・一宮興道)
堀江 恭平 (理工1・城東)
松本 英介 (理工1・五条)
山下 洋介 (理工1・松本深志)

BASS

澤田 拓弥 (理工4・開明)
弓中 光雄 (理工4・岸和田)
藤井 隆亮 (理工3・同志社)
波多野航平 (理工3・春日丘)
久保 雄一 (経済3・関西大学北陽)
中村 直樹 (法 3・松蔭)
谷口 充弘 (理工3・洛北)
上遠野諒平 (商 2・明星)
黒澤 優太 (経済2・同志社国際)
山口 雄人 (心理2・北野)
枇擲 秀仁 (法 1・神戸龍谷)
福島 大揮 (理工1・明石北)
平佐 通 (法 1・桜塚)
南里 英正 (スポ健1・青雲)
村井 夏生 (文化情報1・北陸学院)

MANAGER

徳升 沙妃 (同女表文化4・県立富山南)
岡田 春菜 (理工2・札幌北)

謝 辞

この度は、福岡で開催されました三大学合同コンサートへの遠征、並びに第110回同志社グリークラブ定期演奏会に、数多くのご協賛を賜わり厚く御礼申し上げます。今後とも同志社グリークラブをご支援いただきますようお願い申し上げます。

同志社グリークラブ



創立110周年
おめでとうございます



共に111年目に向かって!!
〈寺号公称110年〉北海道岩見沢市幌向南1条1丁目67
真宗大谷派 智幢山 廣隆寺

つながって、
価値は生まれる。

一つひとつの“音”がつながって、
豊かな“メロディ”となるように、
一人ひとりの知が繋がれば、
きっと新たな価値が生まれる。
人と人、人と社会をつなげるために
富士ゼロックスは、これからも
より良いコミュニケーション環境の
構築を目指してまいります。

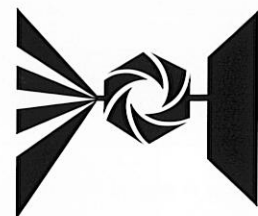


富士ゼロックス株式会社 www.fujixerox.co.jp/ 〒107-0052 東京都港区赤坂9-7-3
ご意見、ご相談などはお客相談センターへ。0120-27-4100 | 受付時間 9:00~12:00 / 13:00~17:00 (土・日・祝除く)
Xerox, Xeroxロゴ, およびFuji Xeroxロゴは、米国ゼロックス社の登録商標または商標です。

FUJI XEROX

きらめく瞬間を未来に伝えたい。

あなたのきらめくその一瞬を素敵にとらえる。
未来に残す素敵な記念写真をお届けするために、
いつもいっしょうけんめいのお大阪フォトサービスです。



OSAKA PHOTO SERVICE
株式会社大阪フォトサービス

<http://www.osakaphoto.co.jp/> E-mail: sales@osakaphoto.co.jp

〒550-0023 大阪市西区千代崎2丁目20-9
TEL. 06-6581-7005 FAX. 06-6581-7033

コンサートビデオ 撮影・制作



本日も撮影中
本日のコンサート撮影通算 294 回目

アマチュア音楽家の記録残します

同志社グリークラブ昭和44年卒
藤田和久



ビデオ工房スピカ

〒563-0036 池田市豊島北2-3-23 電話 072-763-2510 FAX 763-2513
メール svw@cup.com ホームページURL www.spica-video.ne.jp

名物 田毎そば

KYOTO
御蕎麦
SINCE 1867



三条本店 三条通寺町東入 電話 221-3030 ●営業時間 午前11時~午後9時迄
府庁前店 京都府庁正門前 電話 255-7775



王朝文化の
匠の技のもと
宇治茶文化を
ご体験ください。



京都本店

京都市四条通富小路角
TEL 075 (221) 2920

宇治茶の里・宇治でお茶づくり体験と茶料理
宇治茶工房 / 宇治喫茶館 / 宇治茶菓子工房
緑豊かな茶園とお茶の体験・見学
CHA遊学パーク 関西文化学術研究都市内

フレンチと宇治茶・
茶の湯のコラボレーション



東京駅

ふれんち茶懐石 京都 福寿園茶寮
東京駅八重洲口グランルーフ3F
[ご予約・お問い合わせ] TEL 03 (6268) 0290

～淡路島 海と山に囲まれた自然豊かな公共の宿～ 各種音楽合宿受付中!!

30名様より貸切 OK!!



エトワール生石

〒656-2543

兵庫県洲本市由良町由良 2605-1

TEL: 0799-25-7033 FAX: 0799-25-7035

DESIGN &
SOLUTIONS
デザイン・印刷・CD制作・DVD撮影

POCO A POCO

株式会社ポコアポコ
〒604-8451 京都市中京区西ノ京御輿岡町19-5
Tel. 075-467-1551 / Fax. 075-467-1552
E-mail: info@pocoapoco.co.jp

祝 第110回定期演奏会



目の前に広がる琵琶湖。
光る波、たわむれる水鳥、静かな湖面。
まわりの彩に酔いしれる。

湖畔に佇む

びわ湖畔
政府登録国際観光旅館

アヤハレクサイドホテル

〒520-0801 大津市におの浜3丁目2の25 TEL(077)524-2321 FAX(077)525-8751

ステージが映える衣装
お一人様からでもお創りいたします。
その他 色々ご相談お受けいたします。

司屋株式会社

大阪市北区芝田1-6-8
TEL 06-6372-2420
阪急梅田駅茶屋町西出口すぐ

ノルディックウォーキングしよ！
お洒落でフィットネス効果の高い
簡単エクササイズはいかが？
日本ノルディックフィットネス協会公認
関西ノルディックウォーキング協会
会長：大田千賀子 事務局：06-6768-3438
<http://csc.okoshi-yasu.net/>
<http://nordicwalking.or.jp/>

HAIR MAKE PAL

学校法人同志社のパートナー
㈱同志社エンタープライズ(学校法人同志社 100%出資)
損害保険・生命保険代理・マンション斡旋・人材派遣・施設管理
京都市上京区烏丸通上立売上る柳園子町 339 番地
TEL(075)251-3027 FAX(075)251-4044
同志社関連書籍・グッズを多数取り揃えておりますので是非、お立ち寄りください。
同志社大学今出川キャンパス
ハリス理化学館同志社ギャラリー内
TEL(075)251-2716 FAX(075)251-2736
営業時間：10時～17時(ギャラリー入館 16:30 まで)
閉館日：月曜日、祝日、企画展を開催しない日曜日、夏期休暇、年末・年始

「私達は、居酒屋のおいしさを追求し、
居酒屋の楽しさを大切にし、
元気を提供します。」
京都市中京区丸太町通西洞院北東角
(府庁前交差点スグ)
PM 5:00～AM 2:00 (L.O. AM 1:30)
TEL: 075-255-4415
居酒屋 萬正

ビル総合管理・警備保障
北上ビルメン株式会社

SAZANKA 宴会館
ご宴会ご予約受承中!!
最大1室150名様ご利用OK!! (1フロア貸切200名)
宴の館 **ざんか亭** 本店
TEL 075-231-6479
京・中京区東木屋町三条下ル

同志社から3分! JR同志社前駅よこに申込所あります
田辺キャンパス
YAMASHIRO
87
京都府公安委員会指定
山城田辺自動車学校
TEL 0120-398046 <http://www.8046.com>

www.raise-lien.com
Hair & Make
raise
〒603-8165 京都市北区北大路通堀川西入南側ウィングベル紫野 1F
TEL / 075-451-0777 MAIL / info@raise-lien.com
[定休日] 月曜日
[営業時間] 火～土 10:00～19:00
日 10:00～18:00
新規の方 ALLメニュー 20%off

Pâtisserie
Le Moule à Tarte
記憶に残る味を求めて...
シェフ 吉野 暢人(平成4年卒団)
Open 10:00am
Close 8:00pm
定休日 月曜日
焼き菓子はお取り置きも承っております
フランス菓子工房
ムラタルト
〒530-0841 大阪市北区天神橋3-4-6
Tel.06-6342-7177 Fax.06-6342-7178
E-mail info@le-moule-a-tarte.com
URL <http://www.le-moule-a-tarte.com>

唐そば (ごはん付き)
学年を選んで「幸」をオーダーしてください
大学1年生 時価 ¥800 (¥650)
大学2年生 時価 ¥800 (¥650)
大学3年生 時価 ¥750 (¥600)
中学3年生 時価 ¥700 (¥550)
小学3年生 時価 ¥700 (¥550)
幼稚園(年長) 時価 ¥700 (¥550)
『学割さらに50円引き』
『豚骨ラーメン学生 ¥500 有マ』
『飲み放まなび舎コース ¥1,500』
京まなび舎
女子校(女性専用部)あり 学長より
【昼食】11:30～15:00
【夜学】17:00～22:00
京都市上京区新町通上立売町8番地(馬場池ビル1F)
TEL 075 (432) 2827 定休日: 不定休

大平印刷オリジナル TAIHEI
チャリティペーパー
印刷物の制作を通して貴社の社会貢献活動をサポートします。
ワクチンペーパー 赤十字ペーパー 盲導犬支援ペーパー
チャリティペーパーのご用命・お問い合わせは—担当:西岡まで
大平印刷株式会社 Tel. 075-605-3330 e-Mail: nishioka@taihei.co.jp
大平印刷は宝酒造と同じTaKaRaグループ企業です。

attention! 企業名刺の経費削減は弊社の通信名刺システムで
attention! 展示会場(特に小ブース)の企画設営
PRINTING & COMMUNICATION
有限会社 太陽社
代表取締役 平井 雅則(昭和48年卒)
☎543-0052 大阪市天王寺区大道3丁目1番30号
☎(06) 6779-7618 ☎(06) 6779-2163
URL <http://www.taiyoshainc.co.jp/>

醤油とスープ本来の旨味!
ラーメンさのやだけの深い味わい!!
〒602-0026
京都市上京区寺之内通新町東入
古木町 407 ハイツイちほら1F
営業時間: 午前 11:30～午後 2:30 (L.O. 2:10)
午後 6:00～午後 10:00 (L.O. 9:40)
定休日: 日曜日(祝日は営業)
@ramensanoya

同志社グリークラブ 依頼演奏募集中!
同志社グリークラブは
随時依頼演奏を募集しています。
結婚式・興添え・演奏会など
様々なご要望にお応えいたします。
ご連絡は <http://gleeclub.jp/> よりお願いいたします。

2014 WELCOME !! 新島会館

12・18・Thursday

2014年12月18日木曜日 場所：新島会館（寺町丸太町上る）

「下宿生 集まれプロジェクト」

クリスマスイブにはちょっと早い。

でも楽しいパーティーは大好き！

12月18日（木）18時30分から、新島会館で同志社大学生の交流パーティーを開催します。詳細は同志社校友会 HP で掲載しますのでお見逃しなく！（12月11日申込締切）

「パーティーで新しい友達を作りましょう」

同志社校友会

同志社校友会は1885年（明治18年）発足の「アルムニ会」を起源とし1890年に「校友会」という名を持って発足しました。卒業生をつなぎ、同志社の発展に寄与する目的で活動をおこない、そのネットワークは国内だけでなく海外にまで広がっています。卒業生の就職、転職による他府県、海外への移動の際は、この支部ネットワークが現地の情報収集や人脈作りにも生かされています。学校、学生と社会人との支援を軸に活動する事で、現在よりもより未来を見据えた組織づくりを行っています。

参加のお申し込み、お問い合わせ、新島会館へのアクセスは
同志社校友会事務局

〒602-0867 京都市上京区寺町通丸太町上 新島会館内 同志社校友会
TEL: 075-251-4393 / FAX: 075-253-2171 / E-mail: doshisha.alumni@gmail.com
HP アドレス <http://www.doshisha-alumni.gr.jp/index.html>
校友会 HP→インフォメーション→校友会ニュース

HP には日本全国、世界の校友会支部情報も up！



第64回東西四大学合唱演奏会のご案内

日程：2015年6月28日（日）
場所：すみだトリフォニーホール
合同指揮者：山脇卓也先生
合同ステージ：多田武彦先生委嘱初演

出演団体
・同志社グリークラブ
・慶應義塾ワグネル・ソサエティ男声合唱団
・関西学院グリークラブ
・早稲田大学グリークラブ



同志社グリークラブ 第110期卒団生のための フェアウェルコンサート

開場 16:30 開演 17:00 【入場無料】

日時 2015年2月14日（土）
場所 同志社大学東校舎 ハーディーホール
京都市営地下鉄丸太町線 今出川駅より徒歩1分

演奏会での曲紹介につきましては、当日までのお楽しみとなっております。

同志社グリークラブのHPはこちら <http://gleeclub.jp/>



第50回 全同志社メサイア演奏会

2014.12.24（水）18:00開演（17:00開場）京都コンサートホール 大ホール

料金：S席（事前指定）：2000円 A席（事前指定）：1500円 B席（当日指定）：1000円

指揮：山下一史 ソプラノ：松下悦子 アルト：福原寿美枝 テノール：小貫岩夫 バス：井原 秀人
チェンバロ：井嶋万友美 オルガン：大代 恵

合唱：同志社メサイアコーア 同志社大学女声合唱団フルール メサイアシンガーズ 同志社グリークラブ
オーケストラ：同志社交響楽団

お問い合わせ：全同志社メサイア演奏会実行委員会 ☎080-3864-2412（伊吹）



Postscript

～編集後記～

本日はお忙しい中、第110回同志社グリークラブ定期演奏会にお越しいただき誠にありがとうございます。我々同志社グリークラブの一年間の集大成ともいべきこの定期演奏会が無事に開催できますこと、非常に嬉しく思います。

「大学生のうちに何か熱中できることをしたい！！」そんな、勉強にも部活にも懸命に取り組む学生達が各所から集まり、このように一致団結して演奏会に臨むことができました。これは私たちの一生の思い出です。

本演奏会は、先生方、OBの皆様を始め、多くの方々のご支援のおかげで成り立っています。心から感謝しています。ありがとうございます。

マネジメントをする中で見えてくる、我々の良い所と改善すべき所。両者をしっかりと見極め、盤石なクラブ運営の体制を整えようと、我々4回生は必死に働きました。その成果が可愛い後輩達にしっかりと受け継がれ、同志社グリークラブをもっともっと大きく成長させてくれると期待しています。

同志社グリークラブをこれからもずっと愛してください。また来年の定期演奏会で、皆様とお会いできることを部員一同心より楽しみにしております。

皆様にとって今日という日が素晴らしい日となりますように。

4回生 チーフマネージャー 金澤 陽貴

第110回同志社グリークラブ定期演奏会 パンフレット

2014年12月7日（日）京都コンサートホール大ホール
JASRAC 出 1415582-401

編集責任者：同志社グリークラブ 金澤陽貴

編集者：金澤陽貴、安村真也、小林 聖、武田直大、多治見真孝、梅野哲平、山本祐輝、
澤田拓弥、沖村明彦、国本健吾、小窪圭知、松本英介、平佐 通

印刷・DTP：株式会社ポコアポコ